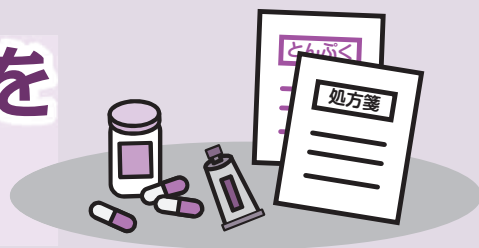


ジェネリック医薬品を 活用しましょう！



ジェネリック医薬品は、新薬（先発医薬品）と同じ有効成分、同じ効能・効果があり、安全性においても同等の医薬品です。

新薬の約2～7割程度の価格となり、皆さまの自己負担額の軽減、それに伴い、短期（医療）財政の改善につながります。

診察の際に、医師に「ジェネリック医薬品希望カード」（平成21年8月配布）を見せ上手に活用してください。

なお、「ジェネリック医薬品希望カード」を忘れた場合でも、ジェネリック医薬品を希望することを申し出いただくことで、利用することができます。

先発薬との薬価・負担額の違い

※1日1錠365日服用したと仮定（薬代のみ3割負担した場合）

脂質異常症	先発薬		12,045円
	ジェネリック	安いタイプ	2,190円
	医薬品	高いタイプ	8,760円
		差額は…？	
	先発薬とジェネリック医薬品	安いタイプ	9,855円
		高いタイプ	3,285円

高血圧	先発薬		17,520円
	ジェネリック	安いタイプ	1,095円
	医薬品	高いタイプ	4,380円
		差額は…？	
	先発薬とジェネリック医薬品	安いタイプ	16,425円
		高いタイプ	13,140円

（参考）日本ジェネリック医薬品学会

「自分が使用している薬のジェネリック医薬品はどうしたら分かるの？」

そんな疑問をお持ちなら、下記のサイトにアクセスしてください。

日本ジェネリック医薬品学会ホームページ

『かんじゃさんの薬箱』 <http://www.generic.gr.jp>